# TERILOGY PRESS RELEASE



報道関係者各位

2016年10月21日 株式会社テリロジー

(JASDAQ スタンダード 証券コード: 3356)

テリロジー、カナダWedge Networks社と国内販売代理店契約を締結! ~サービス事業者向けクラウドUTMプラットフォームと法人向けAI搭載の独自特許技術による統合セキュリティアプライアンスを販売開始~

株式会社テリロジー(以下:テリロジー、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:津吹憲男)は、Wedge Networks Inc.(以下: Wedge Networks 社、本社:カナダ、アルバータ州カルガリー市、CEO: James Hamilton 氏)と国内販売代理店契約を締結し、平成28年10月26日より販売を開始します。

Wedge Networks 社の製品構成は、Wedge のフラグシップの「Wedge Cloud Network Defense(WedgeCND)」のクラウドサービス向けセキュリティプラットフォーム製品と、オンプレミス向け AI(人工知能)型 Cylance を搭載した「Wedge Advanced Malware Blocker (WedgeAMB)」製品の2種類のイノベーション製品群です。

# 1. クラウドサービス向け Wedge Cloud Network Defense (Wedge CND) について

最近の市場トレンドとしてクラウドに IT 資産をシフトする"クラウドファースト"傾向にありますが、ユーザが必要とする多様なセキュリティをクラウドに集約してユーザに提供するしくみは WedgeCND が業界初めてです。これを利用すればユーザはセキュリティ資産を購入・設置する必要がなく、また初期コストの削減にもなります。

また、セキュリティプラットフォームをベースとした Security as a Service ("SECaaS") のため、インターネット接続のセキュリティ課題を解決し、ユーザへのクリーンパイプを実現します。 WedgeCND は、中小規模 (SMB) のエンドユーザ対象向けにセキュリティサービス事業者が提

供するサービスプラットフォームをターゲットにしています。
Wedge Networks 社 CEO の James Hamilton 氏は、「このサービスソリューションは日本国内のサービス事業者すべてにとって必要なものになるだろう」と語っています。

# From: 従来のセキュリティインプリ To: クラウドでのセキュリティサービス \*\*エンドポイント"と周辺は企業内自己防衛 - BYODやオフサイトデバイスを防御する ことは難しい - セキュリティを自社内で運用するには コストがかかる To: クラウドでのセキュリティサービス \*\*Cloud Network Defense\*\*\*で全ての ユーザアクセスを防御 - コスト対効果の高い防御を実現 - 通信路内でのクリーンパイプ機能

### 【WedgeCND の特長】

■Wedge の独自技術で特許取得の「Deep Content Inspection」を搭載

Web コンテンツ、email 添付および Android/iOS/HTML5 による複数のパケットに分割されたデータ(コンテンツ)を組み立て、高速スキャン検知をおこなう仕組みです。

- ・クライアント側が長時間待たされないよう工夫されている。 (Subsonic/ GreenStreaming 機能)
- ・9種類におよぶセキュリティ対策モジュールが NFV で管理されており、 ユーザはポータルで必要なモジュールをクリック操作で選択できる。
- ・Wedge IQ という集積したログをビッグデータ分析し、Elastic Search ベースのアプリケーションを搭載。
- ・脅威の検知は全てトランスペアレントに行われる。
- ・並列処理に対応しており、スケールアウトが可能。 サーバの数を増やせばより多くのトラフィックを捌ける。
- ・カスタマーポータルを備えており、利用者による自己管理が可能 (レポートの確認や、どの機能を有効にするかの選択など)。

# TERILOGY PRESS RELEASE



2. オンプレミス向け AI (人工知能) Cylance を搭載した Wedge Advanced Malware Blocker (Wedge AMB) について

最先端の多層防御をパッケージ化した、新しいタイプのサイバースレッド防御を提供。



### 【WedgeAMB の特長】

- ・高度なマルウエア防御機能をパッケージ化 (signature/heuristic + AI machine learning+ Sandbox)
- ・物理アプライアンスと仮想アプライアンスのいずれも可能
- ・高検知率と高パフォーマンスを実現
- ・Cylance 社とテクノロジーパートナーシップ締結
- ・フルスケールの帯域 100M,1G,10G,100G をサポート
- ・リアルタイムの DPI(Deep Packet Inspection)と DCI(Deep Content Inspection)・オープンシステムバス経由でマルチベンダーテクノロジーを使用
- ・エンドポイントの水際でウイルス、マルウエアを検知し、ブロック

### 【Wedge Networks 社製品構成】

- (1) WedgeARP (Absolute-Real-time Protection) ファミリー/WedgeAMB WedgeARP の新製品ファミリーとして最初に提供する WedgeAMB は新しいセキュリテ ィアプリケーションパッケージと新しい AI テクノロジーを搭載している。仮想環境とア プライアンスに対応。
- (2) WedgeCND (Cloud Network Defense) Security as a Network Service としてのインフラ基盤。Openstack および KVM による仮 想化環境をサポート。更に SDN、オーケストレーションにも対応。
- (3) WedgeIQ

WedgeCND をサポートする仮想化ベースの threat intelligence エンジンで、ビッグデー タ分析のダッシュボードにより可視化サポート。

### 【製品価格について】

- ・オンプレミス Wedge AMB 製品:4百万円(税別)より
- ・クラウドサービス向け WedgeCND 製品:導入予定事業者様の規模、設備投資計画が異なるため 別途見積り

### 【初年度販売目標】

テリロジーでは、サービスプロバイダー(Security as a Service)、モバイルプロバイダー、ホスティングプロバイダーをはじめ、大手製造業などのオンプレミスユーザなどを中心に、初年度 は、販売金額5千万円(平成28年11月~平成29年10月)を目標とし、平成29年度では営業 活動の拡大を図ります。

「Wedge Networks」「WedgeCND」「WedgeIQ」「WedgeARP」「WedgeAMB」は、Wedge Networks Inc.の登録商標です。

その他、本リリースに記載されている社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

# TERILOGY PRESS RELEASE



## 【Wedge Networks 社について】

Wedge Networks は 2002 年に設立され、カナダアルバータ州カルガリー市に本社を置いています。営業拠点は、米国テキサスダラス、中東のバーレーン、中国北京、シンガポールにオフィスを構え、既に世界の17か国で企業、サービス事業者、政府機関の1千万ユーザにおよぶセキュリティ脅威対策に貢献している。

毎年数々のセキュリティアワードを受賞し、2015 年のバルセロナで開催の Mobile World congress では、50 Most Promising IoT Solution Providers を受賞しました。

また、IoT セキュリティの分野にも力を入れています。(http://www.wedgenetworks.com)

### 【株式会社テリロジーについて】

株式会社テリロジーは、1989年に会社設立、エンタープライズLAN/WAN、ブロードバンド・アクセス、セキュリティ、ネットワーク管理の4つのソリューションを中核に、市場および顧客ニーズに対応したハードウェアからソフトウェアまでの幅広い製品を取り扱うネットワーク・インテグレータです。

顧客は大企業や通信事業者を中心に 300 社を超え、ネットワーク関連ビジネスでは豊富な経験と実績を上げています。 (http://www.terilogy.com)

### 本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社テリロジー

営業統括部

TEL: 03-3237-3291, FAX: 03-3237-3293

e-mail: terilogy@terilogy.com

【報道関係者お問い合わせ先】

株式会社テリロジー

マーケティング (広報宣伝) 担当 齋藤清和

TEL: 03-5213-5533, FAX: 03-5213-5532

e-mail: ksaito@terilogy.com